

町田市男女平等推進センターだより

個性と能力を發揮して自立して生きる社会をめざしましょう

第18号

2017年度男女共同参画週間記念講演会 講師 特定非営利活動法人BONDプロジェクト代表 橘ジュン氏 インタビュー

私たちを通して、その子に必要な大人につながる

BONDプロジェクトの成り立ちからお話ししてもらっていいですか？

もともとパートナーのKEN（NPO法人BONDプロジェクト統括、カメラマン）とVOICES MAGAZINEというフリーペーパーを作っていて、街の中にある女の子の声を聴く取材活動がきっかけでした。彼女たちの話を聞いていくと、家出しているとか、おなかに赤ちゃんがいるとか、大変な状況におかれていることが分かってきました。お金がないのにこれからどうするの、と聞くと、やりたくないけれど、泊まるネットカフェの代金を用意するためにこれから援交すると。そんな状況でも彼女たちは、どこかへ相談にいかうとか、保護してもらおうとか考えていない。自分でなんとか切り拓いていこう、傷ついてでも生き延びようとしていて、そのためなら傷つくのも仕方ないと思っているんですよ。だけどそんなことしなくてもいいわけじゃないですか。私たちだってライターとカメラマンだから、どうしたらいいか専門的なところは全然わからないし、情報も知らなかったけれど、ちゃんとした大人につながる時に彼女たちのうまく言語化できない思いや言葉を通訳する必要があると思って、BONDプロジェクトを作ったんです。BONDは「くつつける」という意味です。私たちを通して、その子に必要な大人につながる。

彼女たちを知りたい気持ちは無くならないから活動を続けられている



2017年6月25日講演会の様子

BONDプロジェクトは2009年に、私とKENと、もうひとりスタッフが加わって三人で始まりました。そのうち、私も手伝いたいという子が増えていきました。私たちの活動をテレビで見たり本を読んだり知った、とか実際に相談者だった子もいます。いまは中心メンバーが六人と、BONDプラ

スタッフは若い方が多いですね。やっぱり年齢が近いほうが少女たちには共感しやすいのでしょうか。それも少しはあるとは思いますが、年齢だけで共感するというのはまたちよつと違うかな。私も彼女たちとはだんだん年齢が離れていくけれど、ずっと興味はあるんです。彼女たちを知りたい気持ちは無くならないから活動を続けられているだけで。大事なものはそれだけじゃないでしょうか。



橘ジュンさん

特定非営利活動法人BONDプロジェクト代表、ルポライター。2009年、10代20代の生きづらさを抱える女の子を支えるNPO法人BONDプロジェクトを設立。虐待、家出、貧困など様々な困難を抱える女の子に寄り添う活動を続けている。著書に『漂流少女～夜の街に居場所を求めて～』（太郎次郎社エディタス）等。2017年6月25日町田市にて男女共同参画週間記念講演会『漂流する少女たち』で生きづらさを抱える少女たちについて講演。

知識をちゃんと教えてくれる大人がいてくれれば子どもは生き延びていきます

インターネットではBONDプロジェクトさんも携わっている若草プロジェクト*のように、若年女性がSOSを発する場所を見つけれられる反面、SNSによるトラブルに巻き込まれるという事例も耳にします。

SNSについて、今後はどう対策をとるといいでしょうか。リテラシー教育が大事でしょうね。女の子たちは危険と分かっているけどSNSを利用しています。でもあなたたちよりも大人のほうが悪賢いし上手だから、騙される可能性は充分あるということをお話してあげないといけないですね。

ネットトラブルの相談は多いですよ。架空請求や、課金していくとアイドルに会えるというアプリがあって、そのアイドルに会うためにお金が必要だからカードローンに走ってしまったというケースもありました（サクラサイトトラブル）。

あとは自撮り画像を送ってしまったら、援助交際でホテルに行ったときに盗撮されていたという相談もあります。警察や親へは話せないからどうしよう。具体的にどんなトラブルにあう危険性があるのか教えることが必要じゃないでしょうか。

そういう相談は最近増えてきたものですか？

スマートフォンが普及がきっかけだとも思います。スマホを持つことで、本来なら出会わなくてもいい人と出会う機会が増えています。今はもう子どもの90%以上が持っているから、昔の携帯電話ほど通信料を気にしなくていいし、アドレス変更等の手続きが煩雑じゃなくなっています。携帯がスマホになって、LINEができて、誰かとアクセスするのが簡単になりました。嫌ならすぐブロック、というのも手軽ですよ。昔ならいちいちアドレス変更して、友達に教えて、という作業が必要だったのに。だからメディアリテラシー教育は大事ですね。保護者世代も正しい知識を知っていないと。私たちの場合は先ほどのような問い合わせがあったら弁護士に相談して、正しい対応を教えてください。親や先生でなくても、そういう知識をちゃんと教えてくれる大人がいてくれれば子どもは生き延びていきますよ。

*BONDプラス・・・BONDプロジェクトのボランティアメンバー。主に大学生、専門学校生の女の子。

*若草プロジェクト・・・若年女性がアクセスしやすいLINEを入口とした相談窓口。呼びかけ人に瀬戸内寂聴さん、村木厚子さんがいる。

男女共同参画週間記念講演会
漂流する少女たち

講師：橘ジュンさん
講師：KENさん

日時：6月25日（日）
午前10時～正午
場所：市民フォーラム3階 ホール

定員：188名（座席あり）
申込期間：6月16日（水）正午～6月19日（月）
申込方法：電話、ウェブから受け付けています。
①町田市イベントダイヤル（午前7時～午後7時）
TEL 042-724-5656
②ウェブ（24時間受付）
町田市ホームページ内「イベント申込システム」からお申込みいただけます。
イベントコード「170516D」
備考（1歳6か月～未就学児）をご希望の方は、併せてお申込みください。
主催：町田市男女平等推進センター TEL 042-723-2908

特定非営利活動法人BONDプロジェクト
東京都渋谷区代々木4-36-5 参宮橋サンハイム205
TEL・FAX 03-6276-7367 URL <http://bondproject.jp/>

2月2日(金)前日祭 2月3日(土)、2月4日(日)
第18回まちだ男女平等フェスティバル開催!

2面・3面 第18回まちだ男女平等フェスティバルご案内

メイン企画：依存症ってなあに？～家庭崩壊につながるギャンブルからネット、アルコール、薬物まで～
講師：水澤 都加佐さん（(株)アスク・ヒューマン・ケア取締役 研修相談センター所長）



シンボルマーク

2018年1月11日発行

〈発行・編集〉
町田市役所
市民部市民協働推進課
男女平等推進センター
〒194-0013
町田市原町田4-9-8
☎042-723-2908